

近鉄 5200 形



それまで大阪線や名古屋線の長距離急行用車両として運用されていた 2600 系・2680 系・2610 系は座席に対面式固定クロスシートを装備していたが、1970 年代前半まで運用されていたその先代の急行車である 2200 系や 2250 系と比べるとシートピッチが狭く、旅客から敬遠されつつあったことや、一部編成ではトイレを装備しているものの、1600 系や 1000 系、1200 系などのロングシート車両も長距離急行の一部で運用されており、特別料金不要の速達列車であっても高品質な輸送を求める声が多くなっていたことから、2610 系等に代わる急行用車両として 1988 年（昭和 63 年）に登場した。運行距離の長い大阪線・名古屋線の急行や快速急行などの長距離列車、及び団体専用列車に使用するため、座席に転換式クロスシートを採用した。

※Wikipedia より引用